

動的経営実現のための 戦略スタッフの育成

—競争力の基盤は変化している—

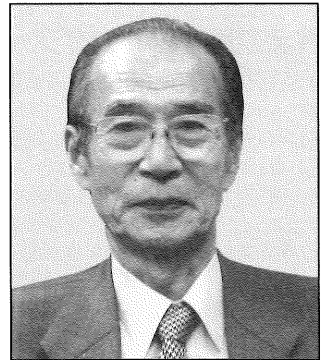
■講師 ㈱現代経営技術研究所
所長 鈴木 成裕

■司会 主任研究員 大槻 裕志

■日時 2001年7月5日(木) 13:15～16:15

■会場 大手町サンケイプラザ 201-2号室

※裏面地図をご参照ください。



セッションⅠ 産業変化の流れは定まった 13:15～13:45

1. 膨大な情報流とバランス激変の下の企業の選択
 2. 新方向への社内刷新とスタッフ
 3. 過去を引きずる現状の問題点
 4. 今の業績をあげ、未来の発展につなげる
 5. スタッフの知的・技術的武装
- <10分間質疑>

セッションⅡ 組織内戦略力 13:55～14:35

1. 戦略スタッフを持たない幹部の悲哀
2. マネジメント・プロフェッショナルの条件
3. 環境転換と社の業務処理スピードとのギャップの克服
4. 自社戦略ロジックの明確化・グローバル経営・連結経営
5. 開発すべきマネジメントモデル
6. 戦略スタッフの抜擢・戦略教育・大リーダーのスタッフ指導
7. 組織の統合力の構造と戦略幹部

討議:司会 大槻裕志 14:35～15:05

育成計画編成上の問題点(上記講義に対する質疑・反論を含む)
<コーヒーブレイク 20分>

セッションⅢ スタッフのための新行動教育 15:25～16:15

1. 経営リーダーの誇りと志
2. 戦略組織化への転換と教育の位置付け
3. 従来思考・知識打破……その方法
4. 戦略業務・計画立案の素早い進め方
5. 問題構造明確化の技術の訓練
6. 情報処理技術の革新の仕方
7. 日本の「場」の認識、日本の「野」の認識

※資料:時間が少ないため、上記事項を補足する資料を用意します。
※提起された問題についてフォローアップ会合を持つ場合があります。

このセミナーについて

成長のチャンスとリスクの交錯する激動環境の中での求められる戦略行動。だが、立案するのも、推進するのも人。力ある層の厚さが自社の存在を確実にする。

そして、今新たに知的資本の形成と推進、新市場対応のチャネル政策、取引先、提携先との関係の組替え、中・長期計画の問題点の戦略的解決等が求められている。

このようなニーズ*に応えなければならない幹部を支えるスタッフをいかに育成すべきか。当研究所の実践してきた例、ならびに今後の考える解を提示します。

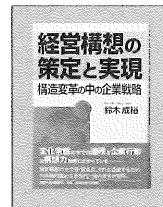
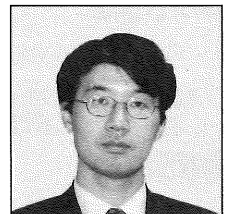
◆講師紹介◆

鈴木 成裕(すずきしげひろ)

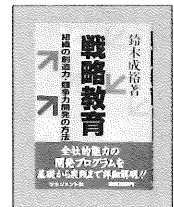
㈱現代経営技術研究所所長。経営政策、システム開発、教育指導を中心に企業・団体の経営コンサルティングに携わる。戦略問題の第一人者として知られる。著書として『システムの時代』(ダイヤモンド社)『経営転換の構想』(同文館出版)『戦略教育』(マネジメント社)『企業意思のデザイン』(講談社)『経営構想の策定と実現』(産能大学出版部)他、多数。

司会:大槻 裕志(おおつきひろし)

㈱現代経営技術研究所主任研究員。91年より現研欧州事務所長としてロンドン駐在。現在は経営調査部にて、経営構造改革、新事業開発、各種問題解決プロジェクトの指導を中心に、コンサルティング、企業教育を推進。



鈴木成裕著『経営構想の策定と実現』
(産能大学出版部刊)



鈴木成裕著『戦略教育』
(マネジメント社刊)